

◆ 新しい今立総合支所は、複合施設として整備します。

人が集まる公園のような 憩いの場

【複合施設周辺のイメージコンセプト】(案)

【はじめに】

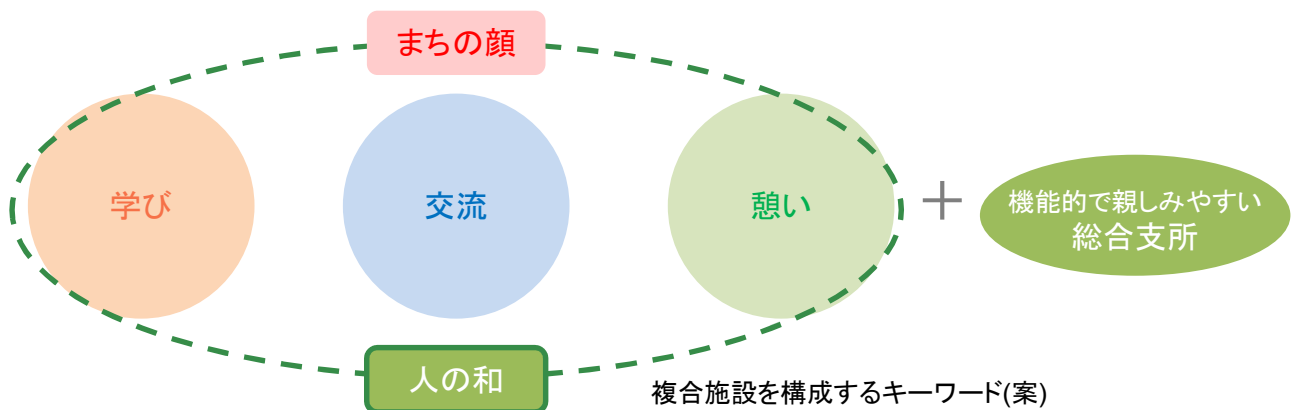
今回のパブリック・コメントは、新しい庁舎の建設をきっかけにして、まちを再生し、次の世代につなげていくためにも、基本構想の策定過程において市民のみなさんから広く意見をお聞きすることが目的です。

みなさんは総合支所がどのようなものであればよいとお考えですか？

また、どのように活用したいですか？

資料No.

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. 複合施設の基本理念・整備方針 | ……2 |
| 2. 地域をつなぐまちづくり | ……3 |
| 3. 複合施設周辺の方向性イメージ | ……4 |
| 4. 複合施設が備えるべき機能 | ……5 |



1 複合施設の基本理念・整備方針

(1) 複合施設の基本理念

庁舎機能のあり方検討委員会及び今立総合支所建設市民検討委員会（第1回～第4回）における議論を集約し、これからの庁舎整備において目指すべき、複合施設の基本理念を以下のようにまとめました。

『まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする』

1,500年の歴史のなかで、越前和紙などの伝統工芸に育まれた今立の中心地にある現在の総合支所を改築し、市東部地域の防災・コミュニティ等の機能を有する複合施設として拡充整備を図ることで、「まちなか・今立」のまちの活性化とまち空間再生の大きな契機とします。

また、それぞれ独自の歴史をもち特徴をもちながら点在する集落を、伝統と文化、防災で結びつけるコミュニティの核となり、長く滞在できる交流機能を持った複合施設とします。

(2) 新しい複合施設の基本的な整備方針 5本柱

基本理念のもと、複合施設のあるべき姿として、5つの基本的な整備方針をまとめました。

I まちの顔となる複合施設

- ①1,500年の歴史と文化（伝統工芸）が年輪のように積み重なった「まちなか・今立」の顔となり、市東部地域のシンボルとなるオンリーワンの施設を目指します。
- ②粟田部や五箇地区、味真野など、地域に点在する歴史・文化や伝統産業を感じさせ、情報発信の核となる施設を目指します。
- ③市東部地域の中心として、人をひきつける魅力ある、まちの顔となる施設を目指します。

II 市民に愛され、多様な市民の参画・協働の場となる複合施設

- ①地域住民が歴史と伝統のあるふるさとへの誇りと愛着を感じ、持ち続けられる施設を目指します。
- ②味真野から服間まで点在するまち（集落）を線状に結び、連続した賑わい・交流の拠点となる施設を目指します。

- ③多様な地域住民が参画し、協働を育む拠点となる施設を目指します。

III すべての人と地球環境にやさしい複合施設

- ①高齢者、障がい者をはじめ、老若男女誰にも安全でわかりやすく、利用しやすいユニバーサルデザイン※1を取り入れた、人にやさしい施設を目指します。
- ②環境負荷低減に配慮した、地球環境にやさしく、自然と融合した施設を目指します。

IV 効率的・機能的な複合施設

- ①ライフサイクルコスト※2の削減を図りながら、将来の変化に柔軟に対応し、長期間有効に使い続けることのできる施設を目指します。
- ②窓口部門の集約化や事務の効率化を図り、本庁舎と連携を取りながら、市民が求めるサービスにスピーディかつ的確に対応する機能的な施設を目指します。

V リスク管理機能を備えた複合施設

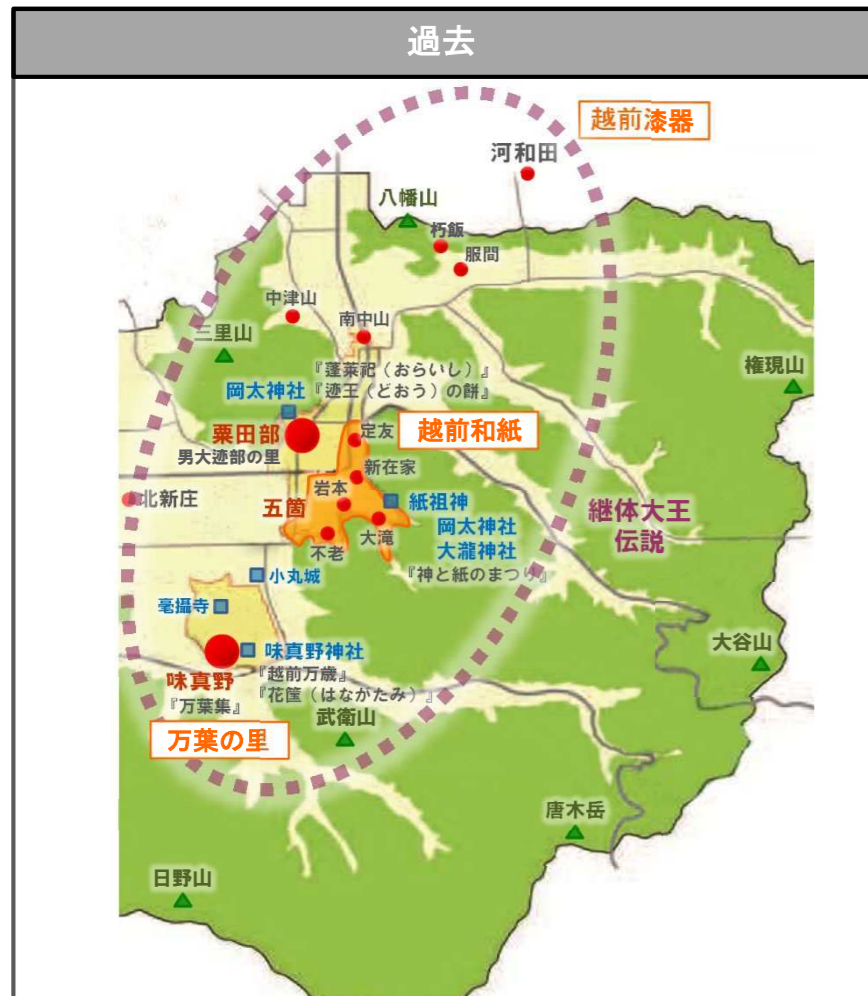
- ①様々なリスクを的確に把握し、管理するための機能を備え、市民が安心して利用できる安全で安心な施設を目指します。
- ②災害発生時には、市東部地域の災害情報の収集や災害対応を担う現地対策本部の役割を担う施設を目指します。

※1 ユニバーサルデザインとは
年齢や障がいの有無だけでなく、老若男女、文化・国籍の違いに至るまで、全ての人が利用しやすいようなデザイン。

※2 ライフサイクルコストとは
建物の建設費用だけでなく、企画・設計等の計画に要する費用から、運用・維持管理・増改築等の使用中に要する費用や解体・廃棄等の取壊しに要する費用までのトータルコスト。

2 地域をつなぐまちづくり

過去から現在に至るまちの成り立ちを読み解き、まちの現状・課題を分析・再認識することで、将来の理想的な姿を見据えたまちづくりを行いたいと考えます。そして、そのために建替えられる複合施設を中心に、未来へ向けたまちづくりの方向性を考え、まちの活性化・まち空間の再生につなげていきます。



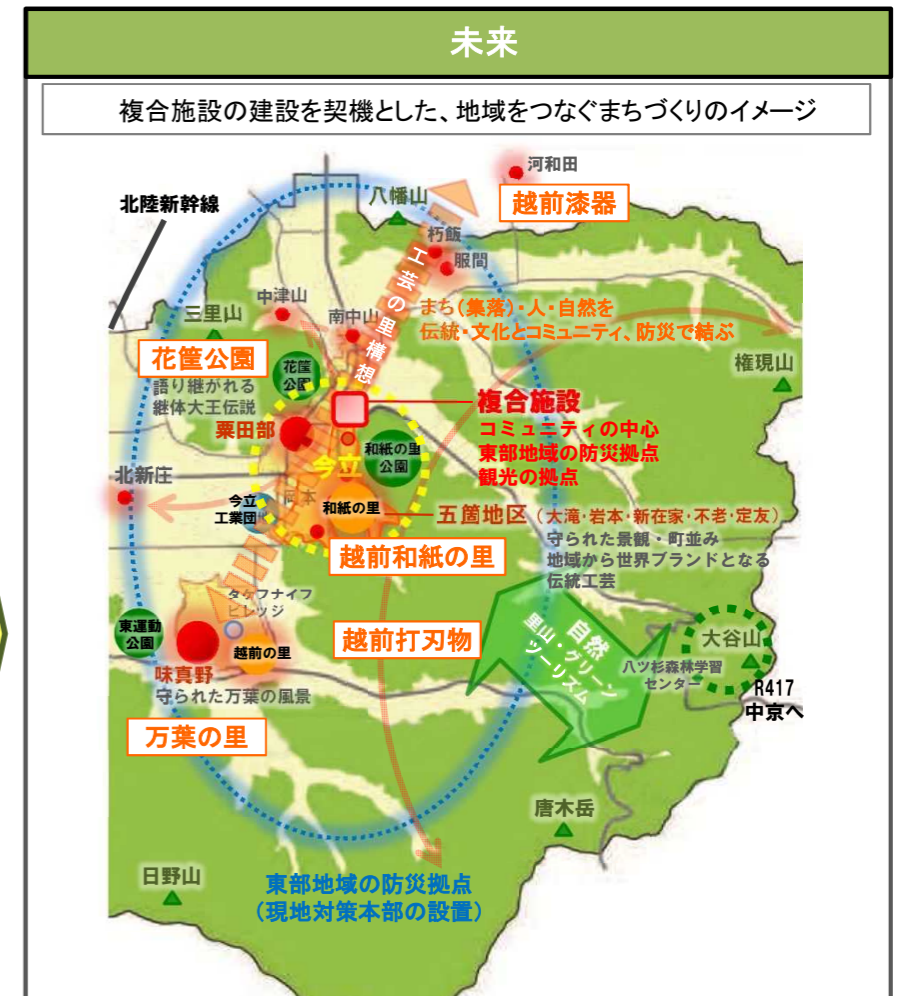
- 1, 500年前、即位するまでの間、**継体大王**が越の国を本拠とし、味真野、粟田部、河和田などの各所に数々の伝説を残している。
- 粟田部の「**蓬莱祀**」や、五箇の**越前和紙**、河和田の**漆器**、大瀧神社の「**神と紙のまつり**」、味真野神社の「**越前万歳**」など、継体大王の伝説は、伝統・文化と深く結びつき、現在も地域の生活に息づいている。
- 味真野は**万葉集**とも関わりが深く、照日の前の「花筐」や中臣宅守の歌など、万葉の文化と情緒をたたえた地域である。
- 五箇は、和歌集や写経の用紙などに用いられた**越前和紙の里**として知られ、明治の初期の頃には奉書紙などの産地として和紙や繊維を扱う商店が集まり大変栄えたように、ものづくりの盛んな地域として、**固有の地域文化**が培われてきた。

現在へ受け継がれる物語



- [現状]
- 1,500年の伝統を受け継ぐ**五箇の越前和紙の里**や、万葉のたたずまいを漂わせる味真野の**里山の風景**など、歴史と伝統文化、自然が一体となった独特の雰囲気を持つ地域である。
 - 五箇では**神と紙の郷づくりプロジェクト**により、地域資源を生かした景観づくりに取り組んでいる。
 - 農村部では高齢化の進行とともに、里地里山の荒廃が懸念されており、**豊かな自然や地域の伝統文化**を生かした取組みにより、地域外者との交流促進が取り組まれている。
- [課題]
- 人口減少等によりこれまで築いてきた**地域コミュニティ維持が困難**に直面している。
 - 越前和紙、越前打刃物など**ものづくりの伝統や文化**が色濃く残っているが、各々が点としてあるため、連携による産業・地域振興が求められている。
 - 近年頻発する豪雨災害により大きな被害を受けたことで、支所機能における**防災機能の充実**が課題となっている。

未来へ向けた方向性



- 複合施設の建設を契機とし、点在する粟田部や五箇、味真野及び周辺集落の文化・伝統が継承され、景観を尊重しながら人の和による**線のように結びついたコミュニティ**を形成している。
- 将来も、周辺エリアの**自然・里山は変わらない姿で保護**され、市民の生活の一部として生き続け、都市住民が農山村で体験しながら地域の人と交流し過ごす**グリーンツーリズム**の場となっている。
- それぞれ独自の歴史をもち特徴を持つ伝統工芸の**産地が連携**して振興・活性化を図っている。
- 越前和紙や越前打刃物など、**伝統産業にさらに磨き**をかけ、越前市発の世界ブランドの技術として発展し、産業観光の拠点にもなっている。
- 年々大規模化する自然災害に対し、複合施設を要としたコミュニティの繋がりによる**自助・共助・公助**により立ち向かい、**地域でつくる安全・安心なまち**となっている。

3 複合施設周辺の方向性イメージ

将来の理想的なまちの姿をめざし、複合施設周辺を3つのゾーンに位置づけ、各ゾーンごとのまちづくりの方向性を示します。

〔伝統文化・学習ゾーン〕

- 伝統文化を保存・展示する
 - ・今立歴史民俗資料館等を生かし、伝統文化継承を重視した施設を創る。
 - ・越前和紙などの伝統工芸に代表される文化や自然が感じられるエリアを形成する。
- 学習の拠点を創る
 - ・伝統と文化を結ぶ学習の軸に沿って、既存施設も含めた交流・学習ゾーンを形成する。
 - ・現地対策本部を設置する防災会議室は、平常時は多目的スペースとして地域に開放する。

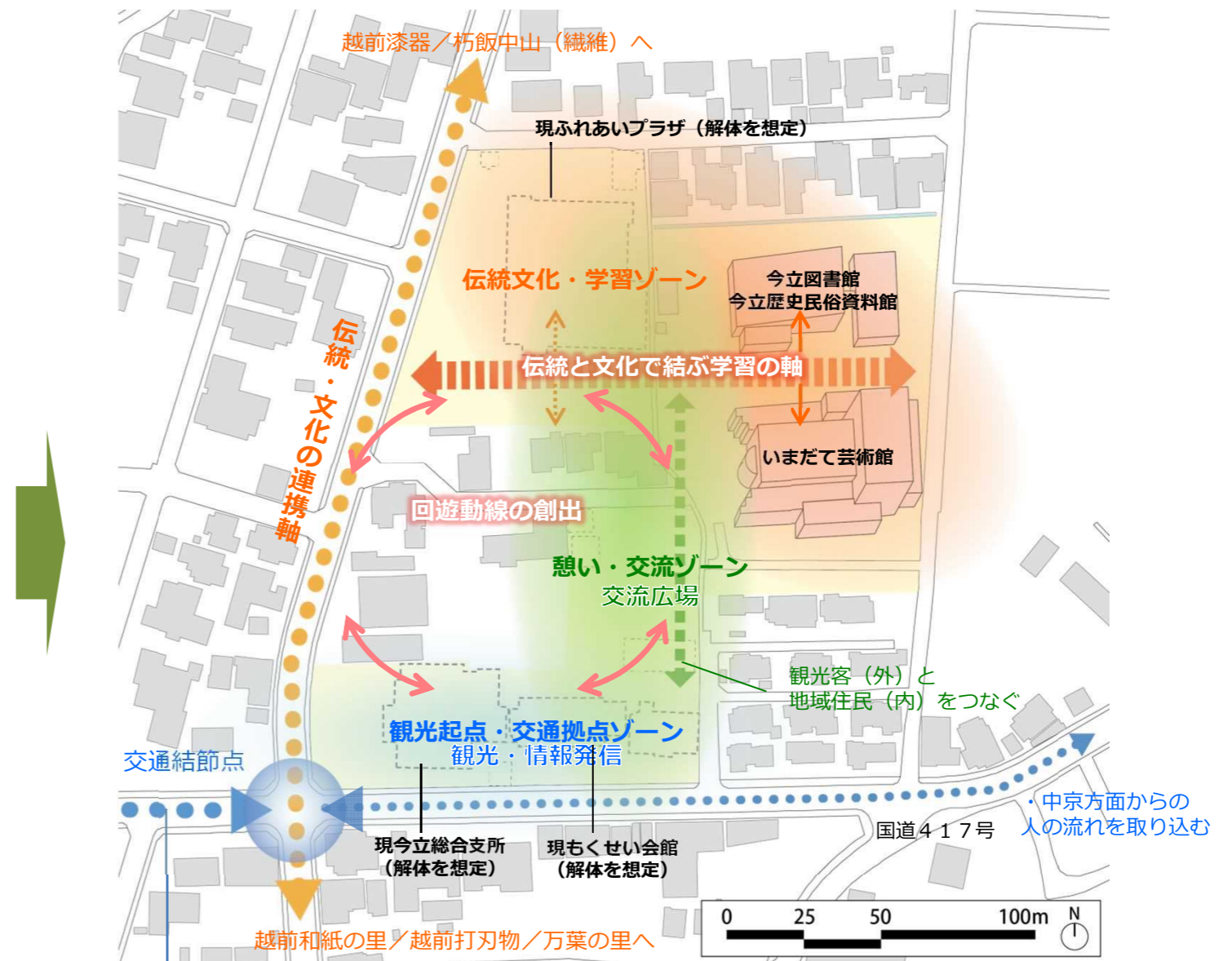
〔観光起点・交通拠点ゾーン〕

- 今立及び周辺地域への導入部となる顔を創る
 - ・交通の結節点として、北陸自動車道・国道8号・(仮称)南越駅からの車の引き込みを考慮する。
- 地域の交通拠点を創る
 - ・JR北陸本線武生駅等からの主要バス路線や、地域を結ぶ交通の拠点となるバスターミナルを設置する。
 - ・冠山峠道路完成を見据えた、中京方面とのつながりに配慮する。
- 他の伝統工芸産地との連携を図る
 - ・他のスポットを紹介する観光案内所を設置し、情報収集の起点を創る。
 - ・車による来訪者が長く滞在できる十分な駐車スペースを確保する。

〔憩い・交流ゾーン〕

- 公園のような憩いの場を創る
 - ・「人が集まる場所」「人が集まってくる場所」を意識し、親子や高齢者が気軽に集える居場所を創る。
 - ・地域、地域間のお祭りなどにも対応できる交流広場を整備する。
- 観光客(外)と地域住民(内)をつなぐ
 - ・地元の特色を生かした食べもの朝市、伝統工芸品などのお祭りなど観光客をひき付けるイベント等を想定する。
- 発災時に災害対応が可能な広場を整備する
 - ・災害時の活動スペースを確保する。

＜複合施設周辺のイメージ(例)＞

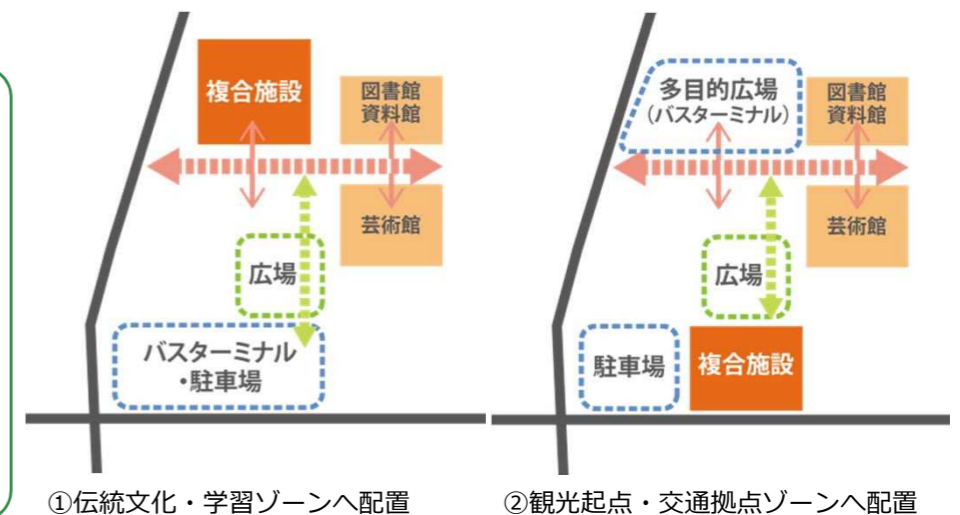


- ・北陸道・国道8号・(仮称)南越駅からの車の引き込み
- ・JR北陸本線武生駅等からのバス路線

複合施設を建設することの効果

≪直接的効果≫ ○来訪者の増加	≪動機付け≫ … コミュニティ機能など来訪目的の創出 周辺施設との回遊性の創出
≪間接的効果≫ ○まちづくりへのシナリオ 都市計画マスタープランの改定	≪動機付け≫ … 伝統・文化の連携軸の中心地としての位置付け

＜複合施設の配置パターンの想定＞



4 複合施設が備えるべき機能

複合施設周辺のイメージコンセプトを「人が集まる公園のような憩いの場」としました。
 そして、そこから複合施設を構成する基本となる4つのキーワードを導き出すとともに、複合施設へ導入する機能及び空間を例示しました。

